

新高小学校いきいき活動放課後子ども教室【大阪府大阪市】

◆事業の目的・理念

- 都市化の影響、少子化や地域のつながりの低下等によって失われた、「暮らし」とともに子どもが育まれる環境を整え、健やかな育ちを支援する。
- 学校と地域との協力のもと、児童が多くの事柄を学ぶことができる様々な体験や活動プログラムを通じて、児童の個性を生かし、自立性、創造性、社会性などを育み、児童の健全育成を図る。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	290日/年間	
参加人数	120人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 新高小学校の普通教室（活動室）、グラウンド、体育館など

教室の開催日

- 課業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

参加対象者

- 新高小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 新高小学校いきいき活動室にて所定の申し込み用紙を提出。
- 利用料金は不要。ただし、災害補償制度運営費として児童1人あたり500円(年額)の保険料実費負担がある。



土曜日の将棋教室

活動内容

- 参加児童数が多い中で、限られた活動スペースを安全に活用し、充実した放課後活動とするため、部屋の中での通常活動だけではなく、様々な取り組みをおこなっている。
- 将棋連盟から講師を招いて月に1度、将棋教室を開いている。「いきいき」基準の検定を設け、認定証を発行している。
- 夏休みには、学校からプロジェクターを借り、多目的室で毎日上映会をして楽しみながら体を休めたり、校庭への水撒きついでに霧状の水をくぐる遊びをしたりしている。冬休みには、校内にあちこちにもうけたポイントを、学年縦割りグループを組んで目標時間により近い時間でゴールするタイムトライアル大会などを実施している。他にも遠足など色々なイベントがある。



体験プログラムの活用（アフリカ音楽体験）

新高小学校いきいき活動放課後子ども教室 活動予定表

日常活動	図画工作、手芸、折り紙、将棋、囲碁、オセロ、トランプ、ウノ、ブロック遊び、すごろく、パズル、コマ、けん玉、卓球、福笑い、ドミノ、ボール遊び、一輪車、鬼ごっこ等外遊び、紙芝居等
行事関係	
春休み	新入生体験参加
1学期	毎月第3土曜日「将棋教室」
夏休み	「いきいき遠足」「お楽しみ会」 PTAフェスティバル参加
2学期	新高幼稚園運動会(交流) クリスマスお楽しみ会
3学期	特別プログラム

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
(財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用
- 配置人数
『コーディネーター(嘱託指導員)』・登録：2名・配置：1名
『安全管理員(地域指導員)』・登録：23名・配置：15～16名
『ボランティア等(いきいきパートナー)』・登録：1名・配置：随時参加

事業を実施して

- 1教室分の活動室で100名を越える児童と一緒に活動しているため、安全面の配慮や楽しい活動への工夫に継続的に取り組む姿勢が培われた。
- 病院にかかるような怪我が少ないこと、毎日参加する児童が「楽しいよ!」と笑って言うこと、夏冬のイベントや遠足にはいつも100名を越える参加があることなどは成果といえる。これが指導員の励みにもなり、一層のチームワークの強化と創意工夫に繋がっている。
- 今後も、指導員だけでなく児童自身が強く安全意識を持って活動するよう指導していきたい。